

「おkaaさんの被爆ピアノ」上映会

‘21年7月17日 豊田市福祉センター

受付場所ではスムーズに流れて



通路には原爆パネル展示も目を引いた



会場は密にならず適度に埋まる。

入場者は約 180 人。



上映が終わり、余韻を味わいつつ...



映画の感想:「おkaaさんの被爆ピアノ」

・戦争のことを知らない若い人たちにみてもらいたい。戦争のことを考える機会になってほしい。(60代)

・私の父も岩国で戦死しました。父の顔を知らずに母が一人で3人の子どもを育ててくれました。日頃戦争のことは忘れていますがアメリカ中国も難しい仲となっています。どうか孫子の代まで平和で有りますように願うばかりです。(70代)

・「おばあちゃんのピアノ」ということで話が進んでいたのに終わる少し前に「おkaaさんの被爆ピアノ」になりハッとしました。(60代)

(アンケート(記入は 77 名)より抜粋)

・100の被爆者には100の悲しみがある。ほんとうに戦争にはしてはならないことです。被爆ピアノ1台1台にも悲しみ思い出がありますがそれが未来を作ってくれる気がします。(60代)

・豊田でも時々被爆ピアノを招いてコンサートを行っており本物を何度も見たことがあります。映画になったことで家族の関わり等すごいなあと改めて思いました。(70代)

・わかりやすいストーリーでした。随所にピアノ、歌があり歌好きの私は楽しめました。矢川さんの思い、女子学生の思いがよく表されており心温まりほっこり。(70代)